

令和7年度 第2回地域授業改善協議会<竹田教育事務所管内>

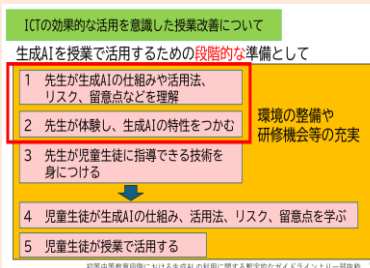
令和7年7月31日(木) 豊後大野市朝地公民館

【目的】 情報担当者または研究主任を対象に、ICTの効果的な活用を意識した授業改善についての講義や協議を行うことで、管内小中学校のミドルリーダーを中心とした組織的な授業改善を図る。

【説明】 ICTの効果的な活用を意識した授業改善 ～生成AIの活用に向けて～

ICTの効果的な活用を意識した授業改善および生成AIの活用についての説明を行いました。

ICTの効果的な活用について、第1回学校訪問における管内の学校の好事例を紹介しました。また、生成AIを授業で活用する実践事例の紹介や生成AI活用に向けての段階的な準備および先生方の活用の仕方について学習しました。



【講義1】 「生成AIの活用について、国の動向、県の動向 (教育DX推進プラン2025)」

【講師】 大分県教育庁教育DX推進課
西元 陽佑 指導主事

教育DX推進プラン2025をもとに、大分県や竹田教育事務所管内のICTの活用状況の確認を行いました。また、生成AI利活用に関するガイドラインをもとに、生成AIについての国や県の動向および利活用に関する説明を行いました。

講義の様子



【講義2】 「生成AIの活用方法および留意点について」

【講師】 大分県教育庁教育DX推進課
西元 陽佑 指導主事

生成AIの特質や仕組み、留意点や活用方法を説明した後、演習で実際に生成AIを活用しました。

【演習1】

・生成AIを使い、文書の作成、校正、要約などを体験

【演習2】

・グループ毎に教科および単元を決め、生成AIを使って授業の教材づくり、授業の構想(展開)、授業での生成AI活用法などの案を作成

【参加者の感想】 (一部抜粋)



<【説明】の感想>

- ・生成AIについて、まずは教職員が理解を深めることや保護者理解を進めることが前提であるということがよくわかった。
- ・便利なものほど活用する際に留意すべきことがあり、まずは環境整備とリスク管理を研修等を通して校内で進めていきたい。

<【講義1】の感想>

- ・生成AIを学校現場で活用できる現在の状況や今後の見通しがよくわかった。
- ・示されている国・県のプランと市教育委員会のプランを校内研修などで周知するとともに、動向について伝えていきたい。

<【講義2】の感想>

- ・実際に生成AIを活用してみることで便利さや困りなどが見えてきたと思う。
- ・これから積極的に自分自身で使ってみたり、職場の先生方とも情報を共有したりしながら取り組んでいきたい。

留意点の説明



演習(グループ)の様子

